

十勝連携地域政策展開方針の推進状況について

- 1 とかち「食の拠点」確立プロジェクト
- 2 十勝の魅力を活かした滞在型・周遊型観光推進プロジェクト
- 3 未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト
- 4 十勝の未来を担う人づくり・地域づくりプロジェクト

令和6年8月
北海道十勝総合振興局

とちかち「食の拠点」確立プロジェクト

【推進エリア】十勝連携地域

目的

生産基盤の強化による安全・安心な食料生産・供給拠点の形成を図り、我が国における食料供給地域としての地位をさらに揺るぎないものにするとともに、農商工連携による十勝の「食」の付加価値向上や海外輸出も含めた販路の拡大を進め、強いブランド力を持った食産業を構築していく。

これまでの主な取組・成果

■ 十勝産品の知名度向上やブランド化に向けたフェアの開催 [関係機関、民間、振興局]

○新宿高島屋「十勝フェア」

開催日：令和5年5月19日～5月21日(3日間)
 場所：新宿高島屋 2階JR口前特設会場(東京都)
 概要：十勝の旬の産品の販売(6事業者41商品)、
 観光プロモーションの実施



○北海道・十勝の至宝「山幸」と十勝産チーズで感じるテロワール

開催日：令和5年9月9日
 場所：アカデミー・デュ・ヴァン青山校(東京都)
 概要：OIV品種「山幸」及び管内のチーズ工房を
 紹介する授業を東京都内のワインスクール
 とタイアップし実施(参加41名(うちオンライン12名))



■ 十勝農畜産物の需要喚起及び需要拡大の取組

○食べるたいせつフェスティバルにおける消費拡大PR

開催日：令和5年9月23日 場所：アグリアリーナ
 概要：牛乳を混ぜるだけのアイス作りやチーズの
 応援キャンペーンなど消費拡大の取組実施



○十勝和牛感謝祭における需要喚起

開催日：令和5年9月10日 場所：道の駅おとふけ
 概要：十勝和牛のPRを図るため、十勝和牛プロジェ
 クトと連携し、十勝和牛の取扱店を掲載した
 「十勝和牛ガイド」をイベントで配布



■ 食産業を盛り上げるキーパーソンを育成するセミナーの開催 [関係機関、生産者、振興局]

○とちかちフード塾2024

開催日：令和6年1月30日
 場所：とちかちプラザ(帯広市)
 概要：事業者や関係団体等を対象に、地域フード塾修了生で組織した「E-ZO」の取組紹介、令和5年度地域フード塾修了生
 による受講報告、有識者によるDXをテーマとした講演及びグループワークを実施(参加人数：29名)



主な評価指標 (KPI)

主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
どさんこプラザでのテスト販売実施件数	62件 (H26～H30の最高件数)	63件 (R5)	62件 (R3～R7) ※毎年度目標値以上	101.6%
国際水準GAPの認証農場数	31農場 (R2)	26農場 (R5)	47農場 (R7)	55.3%

R6年度の主な取組

- 十勝和牛や牛乳・チーズなどの乳製品の消費拡大の取組の実施 [振興局]
- 十勝産ワインとペアリングメニューによる、ワイナリーを食とともに巡るモデルルートの構築 [支援機関、振興局]
- 食の専門家による商品の磨き上げに係るワークショップの開催 [民間、振興局]

十勝の魅力を活かした滞在型・周遊観光推進プロジェクト

【推進エリア】十勝連携地域

目的

十勝が有する雄大な自然環境、豊富な食、多様な文化などの魅力に加え、道内各方面に移動しやすい地域特性を活かした誘客に取り組み、ポストコロナ時代に対応した観光施策を推進していく。

これまでの主な取組・成果

■ アドベンチャートラベルの推進に向けたFAMトリップ等の実施 [振興局]

実施日：令和5年10月24日～27日（FAMトリップ、意見交換会）

概要：日本有数の農業地帯である十勝の産業特性を活かし、世界のアドベンチャートラベラーに選ばれるストーリー性を持ったコンテンツの発掘・磨き上げを地元観光関係者と協力して行い、その優位性を検証するためのFAMトリップ・意見交換会を実施



■ 道外におけるワインと観光の一体的なプロモーションの実施 [振興局]

○ ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西

開催日：令和5年10月26日～29日（4日間）

場所：インテックス大阪（大阪府）

概要：十勝の滞在型・周遊型観光の認知度拡大を目指し、旅行事業者との商談会（26～27日）や一般向けにプロモーション日（28～29日）において、ATコンテンツやワインの試飲を通じた「ワイン×観光」のプロモーションを実施



■ 域外観光客を対象とした電子交通チケットの実証事業 [十勝地域公共交通活性化協議会]

時期：令和5年6月～令和6年3月

概要：十勝管内の路線バスが乗り放題となる「ビジットトカチパス」や、観光施設等のクーポン券がセットになった新たな交通旅行商品を、インターネットによる電子チケットの販売・発行サービス「トカチケ」で販売する実証事業を実施



主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
管内への観光入込客数	1,033万人 (H30)	1,145万人 (R5)	1,115万人 (R7)	102.7%
管内への宿泊延べ数	122万人 (R2)	191万人 (R5)	192万人 (R7)	99.5%

R6年度の主な取組

■ 滞在型観光の一つであるアドベンチャートラベルの確立を目的としたFAMトリップ等の実施 [振興局]

■ 「トカチケ」のPRによる地域公共交通の利用促進の実施 [民間、振興局]

■ 日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を契機とする十勝・日高が連携したプロモーションの実施 [振興局]

未来につながる環境・先進分野十勝プロジェクト

【推進エリア】十勝連携地域

目的

恵まれた自然環境の保全・適正利用を進めるとともに、道内有数の賦存量を誇るバイオマス資源などを活かした再生可能エネルギー等の利活用による地域の脱炭素化、宇宙ビジネスの展開やICTを取り入れたスマート農業による農業・農村の活性化など、十勝ならではの先駆的取組を進めていくことで、活力ある未来につながる地域づくりを進めていく。

これまでの主な取組・成果

■十勝管内における脱炭素の取組推進するため自治体向けのセミナー開催【振興局】

開催日：令和6年1月26日

場 所：十勝総合振興局 3階講堂

概 要：地域脱炭素における官民共創推進のため、十勝管内4自治体（帯広市、音更町、更別村、浦幌町）と来場者と地域課題の共有や、企業との連携の可能性について意見交換を実施

■ゼロカーボン北海道推進に向けた次世代自動車研究会の取組【振興局】

○十勝次世代自動車研究会

概 要：管内の自動車販売会社、電気事業者等で構成し、電気自動車をはじめとした次世代自動車の普及に向けた調査やイベント等を企画・実施

○試乗会・展示会による普及啓発

概 要：道立十勝エコロジーパーク20周年記念イベントに合わせた試乗会・展示会による普及啓発

■十勝における宇宙産業の認知度向上へ向けたイベントの実施【民間、振興局】

○とちか宇宙ビジネスアイデア会議in帯広大谷短期大学

開催日：令和5年10月3日、10月21日、12月2日

場 所：十勝管内事業所2カ所、帯広大谷短期大学

概 要：宇宙産業への理解を深めてもらうため、帯広大谷短期大学地域共生学科1年生の必修授業として十勝発の新たな製品やサービスを考案する会議を開催



主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
ゼロカーボンシティ表明市町村数	1件(R2)	15件(R5)	19件(R7)	78.9%
新エネルギーの導入状況(発電分野の設備容量)	39.9万kW(R2)	46.6万kW(R5)	63.0万kW(R7)	74.0%
先進技術関連事業所立地数	14件(R2)	19件(R5)	18件(R7)	105.6%

R6年度の主な取組

■ バイオマス発電で発生する消化液の有効活用・普及促進に向けた実証事業等を実施【関係機関、振興局】

■ カーボンニュートラルなど企業経営者に向けた脱炭素経営セミナーの開催【振興局】

■ 宇宙関連企業の管内立地を目指した企業誘致活動【振興局】

十勝の未来を担う人づくり・地域づくりプロジェクト

【推進エリア】十勝連携地域

目的

人口減少が進展する中、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、将来にわたって地域を担う人材の確保・育成に向けた取組を進めるとともに、安心して心豊かに住み続けたい地域づくりや新たな人の流れを作る交流促進に取り組む。

これまでの主な取組・成果

■ 多様な人材が一次産業に関心を持ってもらうための体験ツアー、出前授業の開催 [市町、振興局]

○とちかち林業・木材産業魅力体験ツアー

開催日：令和5年9月30日

場 所：十勝管内の苗畑、伐採現場、製材工場

概 要：林業・木材産業に興味のある方、就職を希望する方を対象にツアーを実施



○普通科高校の生徒を対象とした出前授業

開催日：令和5年6月～令和5年11月（全4回）

対象校：音更高校（3回）、足寄高校（1回）

概 要：普通科高校の生徒を対象に出前事業や農場見学を実施



■ 地域を担う人材確保に向けた地元企業と連携した就活イベントの実施 [民間、振興局]

○高校生と地元企業の交流会

開催日：令和5年6月26日

場 所：ホテル日航ノースランド

概 要：高校3年生を対象に、就職活動前に企業及び職業に対する理解を深める機会として交流会を実施

○新規高卒者を対象とした面接会

開催日：令和5年11月1日

場 所：ホテルグランテラス帯広

概 要：新規高校卒業予定者と地元企業とのマッチング面接会を実施



■ 移住・関係人口拡大のための移住者交流会の開催やパンフレットの作成 [民間、振興局]

○子育て世帯対象の移住者交流会

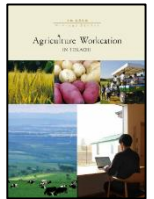
開催日：令和5年9月9日 場 所：帯広市児童会館

概 要：移住した子育て世帯を対象に移住者同士のネットワークづくりを実施。また、交流会で出た意見を基に、移住を検討している方を対象としたパンフレットを作成



○アグリワーケーションガイドブックの作成

農業と連携したワーケーション施設などを紹介するガイドブックを作成



主な評価指標 (KPI)

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
新規学卒者の管内就職率 (管内の高等学校)	86.09% (H28～R2の最高値)	79.4% (R6)	86.09% (R3～R7) ※毎年度目標値以上	92.2%
「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	78.6% (H28～R2の平均値)	72.6% (R5)	78.6% (R3～R7) ※毎年度目標値以上	92.3%

R6年度の主な取組

- 農業を職業の一つと認識してもらうための普通科高校生徒を対象とした出前授業等の実施 [振興局]
- 若年者の職場定着に向け「働き方改革・人手不足対策」等をテーマとした企業等向けセミナーの開催 [民間、振興局]
- 北海道移住交流フェアにブースを出展し、来場者に向けて十勝地域のPRを実施 [振興局]

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
とちぎ「食の拠点」 確立プロジェクト	どさんこプラザでのテスト販売件数	62件 (H26～H30の 最高件数)	31件	39件	63件			62件/年 (R3～R7) ※毎年度目 標値以上	101.6%
	国際水準GAPの認証農場数	31農場 (R2)	38農場	39農場	26農場			47農場 (R7)	55.3%
十勝の魅力を活かした 滞在型・周遊観光 推進プロジェクト	管内への観光入込客数	1,033万人 (H30)	711万人	1,029万人	1,145万人			1,115万人 (R7)	102.7%
	管内への宿泊延べ数	122万人 (R2)	140万人	177万人	191万人			192万人 (R7)	99.5%
未来につなげる環 境・先進分野十勝プ ロジェクト	ゼロカーボンシティ表明市町村数	1件 (R2)	7件	11件	15件			19件 (R7)	78.9%
	新エネルギーの導入状況（発電分野 の設備容量）	39.9万kW (R2)	43.3万kW	44.6万kW	46.6万kW			63.0万kW (R7)	74.0%
	先進技術関連事業所立地数	14件 (R2)	14件	14件	19件			18件 (R7)	105.6%
十勝の未来を担う人 づくり・地域づくり プロジェクト	新規学卒者の管内就職率（管内の高 等学校）	86.09% (H28～R2 の最高値)	84.06%	82.1%	82.7%	79.4%		86.09% /年 (R3～R7) ※毎年度目 標値以上	92.2%
	「できれば今と同じ市町村に住んで いたい」と考える人の割合	78.6% (H28～R2 の平均値)	64.3%	70.3%	72.6%			78.6% /年 (R3～R7) ※毎年度目 標値以上	92.3%

評価指標（KPI）一覧

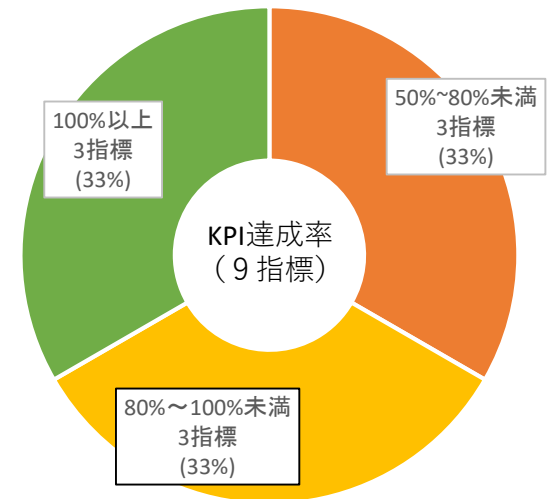
分析・対応方向

【分析】

- ・ 9の評価指標のうち、7つの指標で各前年度から目標値に向け進捗した。
- ・ どさんこプラザでのテスト販売件数については、経済活動が正常化した中、目標値の62件を超える63件となった。
- ・ 管内への観光入込客数は新型コロナウイルスの5類移行や、国際農業機械展等の大型イベントが開催された影響から、目標値の1,115万人を超える1,145万人となった。
- ・ ゼロカーボンシティ表明市町村数については、令和5年度に新たに4町が表明し、計15件となった。

【対応方向】

- ・ R6年度においては、以下の取組で進捗率の向上を目指す。
 - とちかち「食の拠点」確立プロジェクト**
⇒首都圏での十勝フェア開催や食の専門家による相談会の開催などにより、商品の磨き上げや十勝の「食」の付加価値向上を図る。
 - 十勝の魅力を活かした滞在型・周遊型観光推進プロジェクト**
⇒滞在型観光の一つであるアドベンチャートラベルの確立を目的としたFAMトリップ等の実施など、観光客向けの新たな交通旅行商品の造成や情報発信を実施することにより、観光客の増加を目指す。
 - 未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト**
⇒バイオマス発電で発生する消化液の有効活用・普及促進に向けた実証事業等により「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組を進めるとともに、国立公園に指定された日高山脈襟裳十勝国立公園の適正利用に係る意識を醸成し、地域振興への発展を促す。
⇒道内外及び国外の航空宇宙関連企業に対し、射点としての十勝の地理的優位性や事業拠点立地のメリット等を訴求し、将来の関連産業集積の礎を築く。
 - 十勝の未来を担う人づくり・地域づくりプロジェクト**
⇒一次産業をはじめとする地域の担い手確保や若者の起業支援の取組を推進し、地元への定着向上を図るとともに、移住・ワーケーションの推進など交流・関係人口の拡大を図る。



R 6 年度における十勝総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト (※)
十勝ゼロカーボン推進事業	「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、道民等への意識醸成のための普及啓発や、十勝の豊富な地域資源を活かした様々な脱炭素の取組を地域と連携して推進する。	①③④
とがち「ゼロカーボン」ネットワーク連携・普及促進事業	「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、環境の保全・適性利用や豊富な地域資源による再生可能エネルギーの活用について地域の住民や企業等に対し普及啓発を図るとともに、自発的な行動変容を促す。	③
「ゼロカーボン北海道」に資するための省エネ・再生可能エネルギー促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会の実現に係る意識の転換や行動変容に向けた普及啓発を図るため、小学生親子向けのミニセミナーや燃料電池車の工作教室を開催する。 ・「次世代自動車研究会」を活用し、啓発活動やEV導入支援及び各種データ分析・公表による気運醸成を行う。 	③
十勝農業イノベーション加速化事業	人口減少に伴う労働力問題の顕在化と合わせて気候変動に伴う災害の頻発やコロナ禍など農業を取り巻く環境が大きく変化する中で、先端技術の導入や多様な担い手の確保、十勝ブランドの強化、環境負荷軽減の取組を通じて農業のイノベーションを加速化させ、環境と調和した生産性と持続性が両立した農業の確立を目指す。	①③
オール十勝・森と木のゼロカーボン普及啓発事業	豊富な森林資源や木育活動の輪を活かし、森林の育成や木質バイオマス等の利用を通じたゼロカーボンの普及啓発を推進する。	③④
～厳しさの中の美を伝える～ 日高山脈理解促進事業	令和6年6月に日高山脈襟裳十勝国立公園が国立公園に指定されたことを受け、十勝管内は大雪山国立公園、阿寒摩周国立公園と合わせ、3つの国立公園を有する地域となり、自然観光に大きな優位性を持たせることとなったことから、適正利用に係る意識を醸成し、地域振興への発展を促す。	③
Tokachi食と観光“Value Up”事業	コロナ渦を経て変化する旅行ニーズを見据え、環境負荷が低く、地域経済に与える影響が大きいとされるアドベンチャートラベル(AT)の推進、定着に取り組む。また、十勝の食の魅力発信力を強化し、誰もが「行って良し食べて良し」と認識するような地域ブランドを構築し、人と物が行き交う地域経済の好循環を作り出していく。	①②
宇宙産業誘致促進事業	大樹町で進む北海道スペースポートの整備を地域経済の活性化に結びつけるために、道内外及び国外の航空宇宙関連企業に対し、射点としての十勝の地理的優位性や事業拠点立地のメリット等を訴求し、将来の関連産業集積の礎を築く。	③

R 6 年度における十勝総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
農業分野における人材確保対策事業	労働力・担い手不足が課題となっている農業分野において、これまで農業に関心のなかった層に対し、農業に関心を持ってもらう取組を進めることで、幅広い人材を農業と農業関連分野に誘導し、労働力・担い手の確保を図る。	④
とかちの農業押し勝プロジェクト事業	十勝管内の主要産業である農業について、管内でも特色のある農畜産物を推進することで、十勝農畜産物の新たな魅力作りに繋げ、十勝ブランドの知名度の向上に貢献する。	①
ポストコロナに向けた農畜産物需要回復事業	ポストコロナ過での十勝管内の農畜産物の需要の変化を見据え、牛乳・乳製品、牛肉の消費拡大事業の取組を進める。	①
未来人材地域づくり事業	十勝管内の人口減少問題に対し、学生・子どもの地元定着や移住・定住、関係人口の増加や多文化共生の推進など、人口の流出・流入の両面から取組を推進する。	④
十勝管内における公共交通網の維持・確保対策事業	「十勝地域公共交通計画」を踏まえ、十勝管内の地域住民や観光客にとって重要な交通手段である公共交通網の維持・確保に向けて、運転手確保対策、路線の最適化対策、利用促進対策を継続的に推進する。	②
とかちの水産業応援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年の赤潮発生や海水の高水温化などの海況環境の変化等、本道の水産業を取り巻く情勢が厳しくなる中、これからの水産業を支える若手漁業者の取組を支援し、漁業者を志す子どもたちに漁業の魅力伝えることで、水産業の維持継続と担い手の確保を目指す。 ・ 令和3年に発生した有害赤潮や令和5年の海水高水温化など、近年の海洋環境の変化が目まぐるしい中、漁業者の不安を払拭するため、水産技術普及指導所が海洋環境に関する情報等を提供する。 	④

※十勝連携地域が推進するプロジェクト

① とかち「食の拠点」確立プロジェクト	② 十勝の魅力を活かした滞在型・周遊観光推進プロジェクト
③ 未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト	④ 十勝の未来を担う人づくり・地域づくりプロジェクト